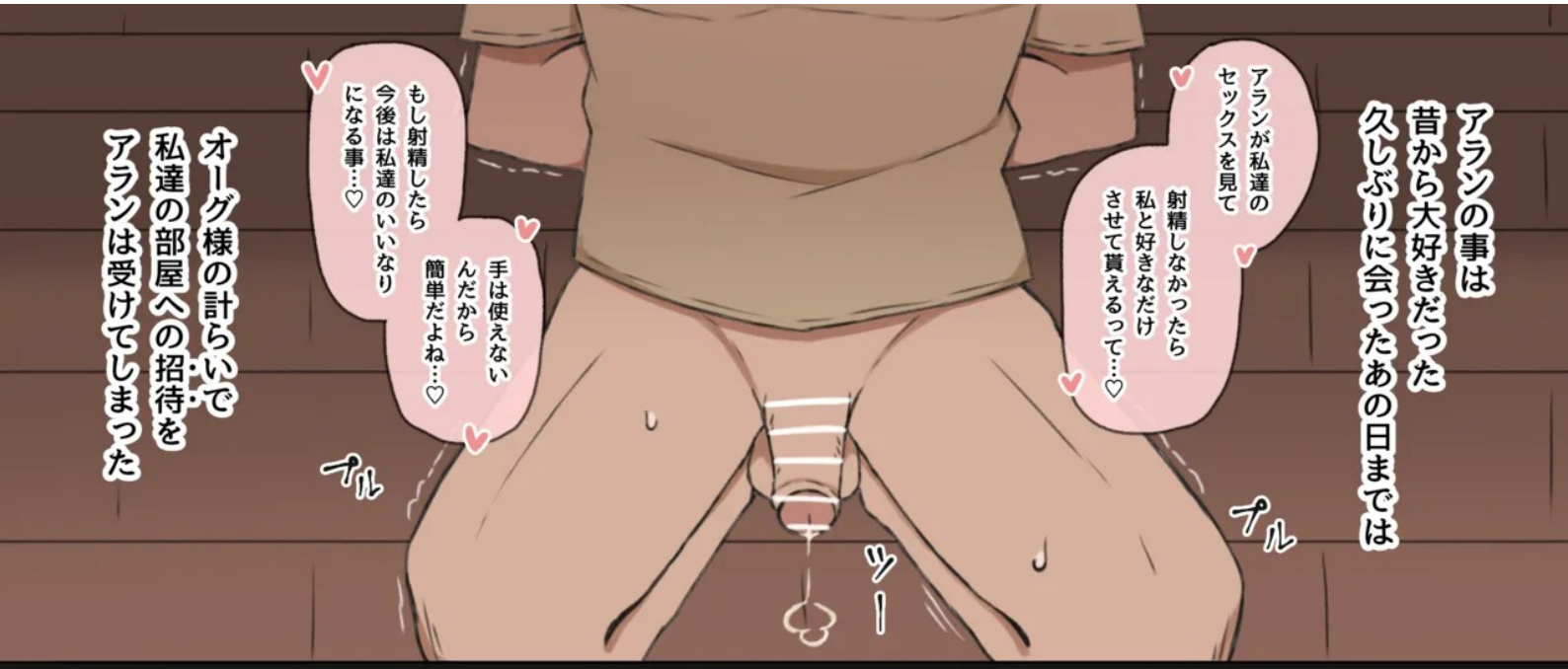
や…やっぱ
セレナはすごいな
団長直々に指名されるなんて
ううん…アランが
いつも修行に付き合って
くれたおかげだよ
違う団だからしばらく
会えねぇけど次会う時までに
もっと強くなるからな！
…うん
また今度…
絶対会おうね
この時
無理にでも
引き止めておけば
この日ほど
後悔した
日はない…
セレナと
会えない日が続き
しばらくして
セレナの団の団長が
女癖が悪い事で有名だと
知った頃にはもう遅かった
オーグさまっ
だめですっ
ビクッ
ぐちっ
ぐちっ
パンッ
パンッ
パンッ
あっイくイくぅ
ギッ
ギッ
ギッ
伝聞では配属初日から
三日三晩は団長の部屋から
出てこれなかったらしい

程なくしてセレナが妊娠したと聞いた
ぬぽっ…
あっ
相手はあの団長だろう
女癖の悪さにしては珍しく
セレナを気に入ったらしく
オーグ様…♡
今日はその…
危ない日で…♡
そろそろ
お止めになった
方がよろしいかと…♡
ど
ろ…
ここ最近は業務を
団員に押し付け
毎日のようにセレナを…
ある日あの団長と
妊娠中のセレナが僕を
尋ねてきた
お腹を撫でながら
幸せそうなセレナを見て
僕は何も言えず
あの団長との
獣のような交尾を
する幼馴染を妄想して
あっ
ビク
びゅるっ
びゅるるっ
びゅくっ
ゴプッ
ドプッ
もう…♡
いじわる
です…♡
私はもう
あなた様の
ものですよ…♡
スリ…
とん…
その日は
何度射精しても
勃起が止まらなかった


アランの事は
昔から大好きだった
久しぶりに会ったあの日までは
アランが私達の
セックスを見て
射精しなかったら
私と好きなだけ
させて貰えるって…♡
もし射精したら
今後は私達のいいなり
になる事…♡
手は使えない
んだから
簡単だよね…♡
オーグ様の計らいで
私達の部屋への招待を
アランは受けてしまった
プル
プル
ツー

酷い誘いだと
分かっていても
その時の私は
オーグ様との
セックスの事しか
頭になく
ゾクゾクッ
フーッ
フーッ
ボンボン
ううっ
ううっ

私の事が好きな
アランを
大好きなオーグ様と
大丈夫です…♡
お腹にはちゃんと
防護魔法をかけました…♡
オーグ様の
お好きなように
動いてください…♡
「気持ちいいセックス」
をするためのダシに
使ってしまいました♡
フーッ
フーッ
ギッ…
アランも
頑張ってね…♡
イっちゃだめだよ…♡
じゃあ…♡
あんっ
オーグさまっ
好きっ
好きっ
パンッ
パンッ
パンッ
パン
ギッ
ギッ
アラン…♡
これからも
ずっと一緒だよ…♡
ピュッ
ピュクッ